

どしゃさいがい

土砂災害

じすべり

地滑り

■ 地盤の弱い緩やかな傾斜地で、大雨による地下水の増加などが原因で地盤がゆるくなり、ずり落ちるように崩れ落ちる。一度に広い範囲で起きるので被害が大きい。

● 前兆

地面にひび割れなどが生じる。
斜面から水が出てくる。
井戸や沢の水が濁る。



がけくずれ

崖崩れ

■ 急な傾斜地や崖地に大雨などで水がしみ込み、崩れやすく危険な状態になる。突然崩れるので、逃げ遅れて巻き込まれる危険が大きい。崖の高さの2倍の距離まで崩れる事がある。

● 前兆

崖から石などが落ちてくる。
崖にひび割れが生じる。
斜面からの水が濁る。



どせきりゅう

土石流

■ 川の上流が崩れた土砂でせき止められるなどして溜まった水が、やがて耐えきれずに岩や倒木等と共にいっきに崩れて流れ落ちる。速度が非常に速く、破壊力が大きい。

● 前兆

上流で雨が降っているのに川の水が濁る。
水が濁り、流木などが
山鳴りがする。

● 土石流は速度が速いので、もしも土石流に遭遇したら、流れる方向と直角に逃げ、なるべく高い所に避難する。



(H15 被災写真)

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）および
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の説明



■ 黄色で囲まれた範囲（土砂災害警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に被害が生じる恐れのある区域」です。

■ 赤色で囲まれた範囲（土砂災害特別警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に甚しい被害が生じる恐れのある区域」です。

● 土砂災害特別警戒区域等にお住まいの方は、大雨の時には早めに避難行動をとりましょう。

● 土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

※地図に記載されている土砂災害危険箇所は、熊本県が公表するデータを基に表記しています。（H19.4現在）

水俣市内には、388箇所の土砂災害危険箇所(土石流危険渓流111箇所、急傾斜地崩壊危険箇所276箇所、地すべり危険箇所1箇所)があります。

平成15年7月20日には、宝川内集地区と深川新屋敷地区で大規模な土石流が発生し、19名の方が犠牲となっています。

土砂災害の危険箇所を確認する

水俣市災害避難地図(洪水・高潮・土砂災害ハザードマップ)を全世帯に配布しています。

お持ちでない方は、市役所3階総務課で配布しています。

また、ハザードマップは次のページでも確認できます。

http://www.minamatacity.jp/jpn/bo-sai/hazard_map/hzmap.html

土砂災害の危険箇所に含まれていないか、避難経路に危険なところがないか、あらかじめ確認しておきましょう。

土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表する防災情報です。

土砂災害警戒情報は、降雨から予測可能な土砂災害の内、避難勧告等の災害応急対応が必要な土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊を対象とされており、技術的に予測が困難である斜面の深層崩壊、山体の崩壊、地すべり等は、発表対象とはなっていません。

また、それぞれの斜面における植生・地質・風化の程度、地下水の状況等に大きく影響されるため、個別の災害発生箇所・時間・規模等を詳細に特定することはできません。

土砂災害警戒情報の詳しい内容については、次のページをご覧ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/bosai/doshakeikai.html> (気象庁)

情報確認

土砂災害警戒情報の発表状況は、気象庁のホームページで確認できます。

http://www.jma.go.jp/jp/dosha/349_index.html

土砂災害の危険度は、熊本県統合型防災情報システムで確認できます。

<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp>

(土砂災害危険度情報 - 芦北地方を確認してください)

また、携帯電話でも確認ができます。

水俣市災害用携帯HP

<http://www.minamatacity.jp/mobile/02bousai/bousai.htm>